

街道の駅からの小さな旅

てくてく

甲斐の国

第9駅 甲斐岩間



市川三郷町六郷は
古くから「はんこの産地」として
卓越した技を磨き続けてきた職人の町。
静かな町並みは、どこか懐かしい郷愁を覚えます。
ものづくりの伝統を守り、継承していく六郷。
その歴史と風情に触れながら、てくてくと…。



01

甲斐岩間駅



駅ロタリーには、大きなはんこのモニュメントがあり、トイレの看板にも篆書体が使われるなど、日本のはんこの里らしい雰囲気がある。

02

オノオレカンバ
原木

六郷で印材として使われているオノオレカンバ。おのをも折ってしまふほどの堅い木質から、繁木、円満などを象徴する縁起の良い木といわれている。

03

金刀比羅神社



住宅地の一角に静かにたたずむ金刀比羅神社。境内には三基の双体道祖神が祭られている。

04

月見橋



富士川に架かる月見橋の歩道からは富士山を望むことができる。川の流れと連なる山々は旅の思い出となる風景。

05

山梨県民信用組合
六郷出張所

なまこ壁に瓦ぶきの日本家屋は、旧六郷村の村長宅。現在は部を改築し、金融機関として使われている。

06

下宿の六地藏



道祖神と六地藏が安置されている。奥に置かれている石幢には「平十の字が刻まれていることから、「平治元年」の作であるといわれている。

07

酒屋・春港堂



しゅんこうどう
明治時代に建てられた入り母屋造りの店舗。懐かしいホーロー看板があり、レトロな雰囲気を感じさせている。

08

日本一の
巨大はんこ

印面2メートル角、重量3トンの巨大はんこには「孫子の兵法」から抜粋した四文字「不動如山」が彫られている。印章資料館駐車場入り口に展示している。

てくてく
歩きの
途中で...



甲斐岩間駅前、草花の手入れをしている男性に出会いました。「無人駅なので、花でお出迎えをしようと思い、地元の有志でつくる『六光会』のメンバーが毎日水やりをしています。駅利用客の皆さんに『花がきれいですね』と声を掛けてもらったり、触れ合えたりするのがうれしいです」と笑顔で語ってくれました。

篆刻の美。
時を超えてさらに深まる気品。



自己の認証として用いる印章。中でも落款印は、芸術的要素を有している。用途はそれぞれであっても作り手が込める精神には通じるものがある。伝統ある印章の産地・六郷には、世界に誇る貴重な作品、歴史を物語る資料が数多く残されている。目を凝らし、心静かに向き合えば、名作が教えてくれる本物の気品が見えてくる。

日本の篆刻界をけん引した重鎮・小林斗盦(こばやしとあん/1916~2007年)氏は、篆刻家では初となる文化勲章を受章。六郷の職人たちとの親交も深く、その縁から印章資料館には、斗盦氏の貴重な作品が多数展示されている。写真の落款印はその一部。

